

植物多様性センターの「ヘクソカズラのすすめ」

道端やちょっとした空き地のフェンス、どこにでもヘクソカズラは生えています。学習園内でも今が花盛りです。ヘクソカズラはアカネ科の多年性のつる植物で、観察してみると名前に似合わず、なかなか面白い植物です。たとえば、花の変異を見てみると、小輪のものは花冠の直径が5mm程、大輪のものは倍以上あります。花や茎の色、形にも変異があり、多様性のある植物であることがよくわかります。



花が小輪の個体：咲き始めは「キキョウ咲き」とも言いたい尖った花型



外側がピンクに色づく個体：小輪で花冠が赤みを帯び、茎も濃く色づく



花冠外側が純白で大輪の個体：茎や葉柄も明るい緑色



大輪でフリルのある個体：花冠の外側の裂片が大きくフリル状になる